きらり とちぎ人



ライブカフェ増茂米店オーナー

増茂（ましも）　光夫（みつお）　さん

長く東京でPA（音響技師）として活躍され、現在も中目黒でライブハウスを経営する傍ら、柳橋町においてライブカフェ増茂米店を経営する増茂さんにお話を伺いました。

音楽家を支える圧巻のキャリア

「ただのライブハウスのおやじです」と話す増茂さんですが、その経歴は実に華やかです。日本ジャズ界の中心地『ブルーノート東京』にて、PAとして約7年間にわたり数多くの著名ミュージシャンのステージをサポート。その後、独立して中目黒にライブハウス『楽屋（らくや）』をオープンしました。30年以上の歴史を誇る老舗となった現在も、自らPAとして現場に立ち続けています。

きっかけは親孝行

そんな増茂さんが故郷の栃木市にも店を構えるきっかけになったのは、お母様の存在でした。高齢となったお母様の面倒を近くで見るため、実家の米屋を改装。こだわりの音響や照明に加え、ご近所さんへの配慮から徹底した防音設備を備え、現在の『ライブカフェ増茂米店』へと生まれ変わらせました。「お店の屋号も、父親の代で3代続いてましたから、ご近所でも馴染みの『増茂米店』をそのまま使っています」

3年前に他界されたお母様も晩年はライブハウスに顔を出していたそうで、「音楽を聴きながら楽しそうにしてましたよ。最後に親孝行できたかな」と笑顔で振り返ります。

野外イベントを主催

増茂さんは野外イベントも主催しています。10月に開催した野外イベント『野音（やおん）』も今年で4回目を迎えました。増茂さんを慕う東京のミュージシャン達が集結して、様々なジャンルの音楽を披露。今年も無事に成功を収めました。「これからも年に一回は開催していきたいと思っています」と笑顔を見せます。

また、定期的に『増茂米店』で行われているライブイベントでは、「高校生以下は無料、大学生も半額。若い世代に本物の音楽を間近で感じてもらいたい。ここから世界で活躍するミュージシャンが誕生したら最高だよね」と熱く語ります。

音楽好きな方がふらっと立ち寄ってもらえるような場所にしていきたい、そんな想いが、この場所にはあふれています。

ライブカフェ
増茂米店▼

STOP温暖化！ カーボンニュートラル

電気をためて、暮らしに安心を
～蓄電池・V2Hの設置費用を補助します～

太陽光でつくった電気は、夜や停電時にも活用することができます。家庭用の蓄電池は、昼間に発電した電気をためて、夕方や夜に使える設備です。また、V2Hは、電気自動車への充電に加え、車に貯めた電気を家庭で使えるようにする設備です。どちらも太陽光発電と組み合わせることで、再生可能エネルギーの有効活用につながります。停電時にも、家庭に電気を供給できるため、災害への備えに役立ちます。

市では、住宅の太陽光発電設備に接続する蓄電池やV2Hの設置費用の一部を補助しています。環境にやさしく、もしもの時にも心強い「電気をためる暮らし」をご家庭で検討してみませんか。

補助金の内容

補助金額
定置型蓄電池：補助対象費用の10%（上限5万円）
電気自動車充給電システム（V2H）：一律4万円

申請期限
令和9年2月12日（金）
・予算がなくなり次第、受付終了になります。
・設備の設置後に申請をお願いします。

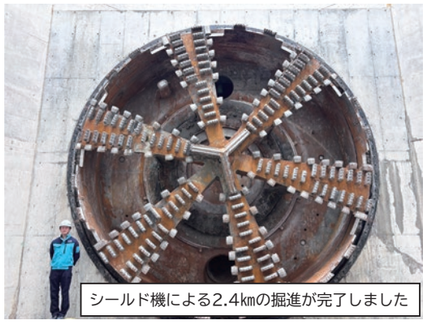
注意事項
※住宅の太陽光発電設備に接続することなどの条件があります。
※対象条件や必要書類は、市ホームページをご確認ください。

問 環境課 ☎（21）2434

令和元年東日本台風被害からの復旧状況について

巴波川

巴波川地下捷水路（地下トンネル河川）区間2.4kmについて、地下捷水路本体建設工事では、令和8年10月末までに2.4kmをシールド機により掘進が完了。引き続き流入施設および流出施設の工事を進めてまいります。なお、進捗状況等については、安全協議会や栃木土木事務所ホームページ等にて情報発信していますので、ぜひご覧ください。


シールド機による2.4kmの掘進が完了しました

【安全協議会HP（巴波川）】
街なか守る　巴波川



永野川

改良復旧区間約10.6kmのうち、令和8年10月末までに10.4kmの整備が完了し、0.2kmで河道掘削・護岸工事を実施しています。また、改良復旧工事に伴い改築を行っていた両明橋、諏訪橋、千部橋、新西野田堰が完了しました。千部橋下流は護岸工事を施工中です。工事期間中、地域の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

【安全協議会HP（永野川）】
永野川　安全協議会

【栃木市の治水事業】
治水対策室
☎（21）2785

【栃木土木事務所HP】
栃木土木事務所　改良復旧課
☎（23）3921

【YouTube 栃木県県土ちゃんねる】
河川事業関係

わが町 kawashiru プロジェクト



栃木土木事務所では、巴波川地下捷水路工事や防災対策について理解を深め、建設業の魅力を伝えることを目的に『わが町kawashiruプロジェクト』を実施しています。10月26日には、栃木第三小学校を対象に、第6回目となる出前講座を実施しました。これまで講座を実施した小中学校へのアンケート調査から、「自分たちの町で何がおきているのか？」への理解を深めるためには、保護者の方も一緒に学ぶことが重要であると分かりました。そこで第5回の栃木南小に続き第6回でも保護者の方々にもご参加いただき、県の仕事内容を紹介するキャリア教育のほか、地下捷水路工事の模型実験や測量機器に触れていただきました。また、実際に地下捷水路の工事現場を見学いただき、普段見ることの出来ない大規模な建設現場を間近で体験していただきました。今後も引き続きプロジェクトを実施しますので、ご理解の程よろしくお願いします。